

関西福祉大学アドミッションポリシー

関西福祉大学アドミッションポリシー	<p>関西福祉大学は、基本理念に定める人材を育成するために、本学での学修や課外活動等を通じて、自らを成長させ続ける意欲にあふれ、様々な能力・適性を有する多様な学生を幅広く受け入れます。そのために、高等学校等での学習や課外活動を通じてこれまでに培われた基礎学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲」、多様な入試制度により多面的かつ総合的に評価することを基本的な方針としています。</p>
-------------------	---

学部学科別アドミッションポリシー

学部	学科	学科の目的	受入れの基本方針	求める人材像	選抜の基本方針
社会福祉学部	社会福祉学科	<p>社会福祉学部 社会福祉学科は、人間の尊厳を大切に『福祉の心』を基盤とする豊かな教養と、社会福祉の価値・知識・技術を身につけ、広い視野から福祉社会の発展に大きく貢献できるソーシャルワーカーを育成することを目的としています。</p>	<p>各学科の目的をもとに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）に定める学士課程教育で培う能力・素養にに応じて、知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を</p>	<p>①高等学校教育課程の内容を幅広く修得している。 ②人の幸せを願い、その実現のために、人との関係を大切にしながら、様々な生活課題の解決を支援したいという意欲を持っている。 ③社会で起こる様々な出来事と社会福祉との関連性について常日頃から関心を持ち、疑問に感じたことに対して、自ら調べ、解決に向けて取り組む習慣を身につけている。 ④積極的に他者と関わろうとし（そうした気持ちがあり）、対話を通して相互理解に努めようとする姿勢を持っている。 ⑤高等学校等での学習や課外活動・ボランティア活動等で、他者と協働した活動や学習の経験があり、他者と協力しながら課題をやり遂げようとする意欲を持っている。</p>	<p>「求める人材像」の項目を基本要素として、高等学校における基礎学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲（主体性・多様性・協働性）」をそれぞれの入学試験において重み付けを行い評価し、入学者を</p>
教育学部※1	児童教育学科	<p>教育学部 児童教育学科は、子どもの健やかな成長に携わる立場から真摯に考え、課題解決のために行動できる確かな実践力を持った教員・保育者を育成することを目的としています。</p>		<p>①高等学校教育課程の内容を幅広く修得している。 ②保育士・幼稚園教諭・小学校教諭等を目指して教育・保育の専門家としての立場から社会に貢献したいという情熱を持っている。 ③社会における教育・保育の事柄について関心を持っている。 ④高等学校等での学習や課外活動・ボランティア活動等で、他者と協力した活動や学習の経験を通して、コミュニケーションができる基礎的な能力を身につけている。</p>	
看護学部	看護学科	<p>看護学部 看護学科は、生命の尊厳と人権を尊重し擁護する倫理観を培うとともに、その人がその人らしく生きられるような「ヒューマンケア」を提供し、保健・医療・福祉・学校における役割について総合的に捉え、社会の多様なニーズに対応し、地域社会および国際社会に貢献しうる質の高い実践能力のある看護専門職者を育成することを目的としています。</p>		<p>①豊かな発想と論理的な思考を基に行動するために必要な基礎学力を有している。 ②自らが主体的に学ぶ姿勢を有し、課題解決のために意欲的に取り組み、自己研鑽できる。 ③国内外の保健・医療・福祉・教育分野において広く貢献したいという志を有している。 ④ヒューマンケアの理念を基盤に、他者の立場や心情を理解し、きめ細かな配慮と心遣いができる。 ⑤高等学校教育課程の内容を幅広く修得し、特に聞く・話す・読む・書くという他者との相互作用によるコミュニケーションを行う基礎的な能力を身につけ、科学的思考力や生命現象を理解するために不可欠な基礎的知識を有している。</p>	

※1 2018年4月発達教育学部から教育学部へ学部名称変更予定

入学試験別アドミッションポリシー

各学科別に定める「求める人材像」の項目を基本要素として、高等学校における基礎学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲(主体性・多様性・協働性)」をそれぞれの入学試験において重み付けを行い評価し、入学者を適正に選抜します。

入学試験区分	アドミッションポリシー
一般入学試験	<p>一般入学試験は、関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な学力のうち「知識・技能」を中心に、筆記試験の得点により合否判定を行います。そのため一般入学試験では、入学者を適正に判定できるよう試験問題を独自に作成しています。また、各学科アドミッションポリシーに基づき、試験科目を学部ごとに設定しており、特に成績が優秀な者を「特待生」として認定します。試験問題は高等学校の授業に準拠した内容を問うものとし、高等学校までに学んだことが正しく理解できているかを評価します。</p> <p>社会福祉学部・教育学部では後期日程において「思考力・判断力・表現力」を中心に、各学部の学修に必要な学力を小論文により評価し、合否判定を行う「小論文型」を実施します。</p>
一般入学試験前期センタープラス	<p>一般入学試験前期センタープラスは、関西福祉大学一般入学試験に併せて、大学入試センター試験にも取り組んだ「主体性」を高く評価し、受験機会の優位性をもたせるために、一般入学試験前期とは別に募集人員を設け実施する入学試験です。</p> <p>関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な学力のうち「知識・技能」を中心に、本学一般入学試験前期と大学入試センター試験の教科・科目の筆記試験の得点で合否判定を行います。</p>
大学入試センター試験利用入学試験	<p>大学入試センター試験利用入学試験は、各学科アドミッションポリシーに共通する高等学校教育課程の内容を幅広く修得している受験生を評価する入学試験で、関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な学力のうち「知識・技能」を中心に、大学入試センター試験の得点のみで合否判定を行います。そのため必須教科・科目は設定していません。</p>
公募制推薦入学試験	<p>公募制推薦入学試験は、出身高等学校長等の推薦により、各学科アドミッションポリシーの定める人材であると認められる受験生を、本学が独自に作成する筆記試験(国語・英語)の得点により合否判定を行います。特に、全学部に通ずる他者との相互作用によるコミュニケーションに必要な“聞く・話す・読む・書く”の基礎的な「知識・技能」を高く評価するため、試験科目は「国語」「英語」の2科目を設定しています。また、公募制推薦入学試験前期では、多様な受験生を適正に選抜できるよう以下の2方式による選抜を実施します。</p> <p>A方式: 各学科アドミッションポリシーで求める他者とのコミュニケーションに必要な基礎的能力を身につけているか「国語」「英語」により評価する方式で、特に成績が優秀な者を「特待生」として認定します。</p> <p>そのため、関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な学力のうち「知識・技能」を中心に、筆記試験(国語・英語)の得点のみで合否判定を行います。</p> <p>B方式: 高校在学時の成果を評価し、「求める人材像」を体現する可能性を測る方式です。学力の総合的な評価として、出身高等学校等の調査書を得点化(全体の評定平均値×10点)し、筆記試験(国語・英語のうち高得点1科目)の得点とあわせて合否判定を行います。</p>
特色入学試験 看護探求型	<p>特色入学試験は、従来からの教科・科目の筆記試験だけでは測ることができない、看護職になる明確な目的意識をもち真摯に学び続けることのできる、探究心が旺盛な者を受け入れる自己推薦型の入試制度で、看護学部看護学科で「看護探求型」として実施します。</p> <p>筆記試験及び小論文、グループ討議を組み合わせ、関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な学力を多面的且つ総合的に評価し、適正に選抜します。</p> <p>基礎学力テストでは、本学が独自に作成する筆記試験(英語・数学・生物の総合問題)を用いて高等学校教育課程の内容を修得しているか「知識・技能」を評価します。小論文(課題文型)では、社会で起こる様々な出来事と看護との関連性について常日頃から関心をもち、疑問に感じたことに対して、自ら調べ、解決に向けて取り組む習慣を身につけているか、その「主体的な学習意欲」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。グループ討議では、与えられたテーマについて、小論文でまとめた自分の意見を基に、5名程度のグループ討議を行い「多様性・協働性」や「思考力・判断力・表現力」について総合的に評価します。</p>
スポーツ特別AO入学試験	<p>スポーツ特別AO入学試験は、スポーツ活動において優れた能力や競技実績を有し、入学後は学業と課外活動(剣道部・男子サッカー部・男子硬式野球部・バレーボール部・陸上競技部)を両立させる強い意欲を持つ者を積極的に受け入れるため、社会福祉学部・教育学部で実施する自己推薦型の入試制度です。関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な一定水準の学力(高等学校等における全体の評定平均値が3.0以上)を有し、各学科アドミッションポリシーに定める人材であると認められる者を、本学で実施する小論文及び自己推薦書等の出願書類を参考とした面接により、大学の建学の精神・基本理念並びに各学科の目的への理解度、入学後の学びや課外活動に対する意欲・目的意識、将来ビジョン等から「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲」を総合的に評価し、合否判定を行います。</p>
吹奏楽特別AO入学試験	<p>吹奏楽特別AO入学試験は、吹奏楽活動において優れた能力や活動実績を有し、入学後は学業と課外活動(吹奏楽部)を両立させる強い意欲を持つ者を積極的に受け入れる社会福祉学部・教育学部で実施する自己推薦型の入試制度です。関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な一定水準の学力(高等学校等における全体の評定平均値が3.3以上)を有し、各学科アドミッションポリシーに定める人材であると認められる者を、本学で実施する小論文及び自己推薦書等の出願書類を参考とした面接により、大学の建学の精神・基本理念並びに各学科の目的への理解度、入学後の学びや課外活動に対する意欲・目的意識、将来ビジョン等から「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲」を総合的に評価し、合否判定を行います。</p>
社会人特別選抜入学試験	<p>社会人特別選抜入学試験は、関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲」を、小論文と面接を通して多面的且つ総合的に合否判定を行います。小論文では、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。さらに面接により、大学の建学の精神・基本理念並びに各学部の目的への理解度、入学後の学びに対する意欲・目的意識、将来ビジョン等から「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲」を総合的に評価します。</p>

AO入学試験アドミッションポリシー

AO入学試験は、書類審査や実技及び面接等を組み合わせ、関西福祉大学の学士課程教育を受けるために必要な学力を多面的に評価し選抜する自己推薦型の入試制度で、社会福祉学部・教育学部で実施(実技型は教育学部で実施)します。AO入学試験では、従来の教科・科目の筆記試験だけでは測ることができない多様な能力や可能性、明確な目的意識・意欲をもった受験生等を適正に選抜できるよう以下の3型8方式による選抜を実施します。また全方式共通で、関西福祉大学に進学することで、自身のもつ多様な能力や可能性等を最大限引き出すことができるか、大学の建学の精神・基本理念並びに各学科の目的に共感することができるかを受験生自身が確認できる機会として、本学教職員による事前面談を実施しており、出願条件としています。

	選抜型	方式	内容	
AO 入学 試験	可能性発見型	課題レポート方式	本学の建学の精神・基本理念並びに各学科の目的に共感し、自身のもつ可能性を本学で最大限引き出したいと考える受験生に向けた選抜方式です。	レポート(事前提出)と面接及び調査書を得点化し、合否判定を行います。
		未来発見ガイド方式		
	志望選抜型	ソーシャルワーカー志望選抜方式	ソーシャルワーカー(社会福祉士)をめざすという明確な目標をもち、社会福祉学部で身につける専門性を生かし社会貢献したいと考える受験生に向けた選抜方式です。	小論文と面接及び調査書を得点化し、合否判定を行います。
		教員志望選抜方式	小・中・高等学校教諭等をめざすという明確な目標をもち、各学科で身につける専門性を生かし社会貢献したいと考える受験生に向けた選抜方式です。	
		保育者志望選抜方式	保育士、幼稚園教諭等をめざすという明確な目標をもち、教育学部で身につける専門性を生かし社会貢献したいと考える受験生に向けた選抜方式です。	
		公務員志望選抜方式	公務員(市役所、警察官、消防士等)をめざすというはっきりした意思を持ち、各学科で身につける専門性を生かし社会貢献したいと考える受験生に向けた選抜方式です。	
	実技型	絵本読み聞かせ方式	将来の明確な目標をもち、専門職者として必要な知識・技能を入学試験を通じて経験したいと考える受験生に向けた選抜型です。	実技と面接及び調査書を得点化し、合否判定を行います。
		体育実技方式		

学力の総合的な評価として、出身高等学校等の調査書を得点化(全体の評定平均値×10点)します。面接では、大学の建学の精神・基本理念並びに各学科の目的への理解度、入学後の学びに対する意欲・目的意識、将来ビジョン等から「思考力・判断力・表現力」を評価します。「思考力・判断力・表現力」に加えて「主体的な学習意欲」を評価するため、「可能性発見型」では、各学部に関連のある諸問題等を自ら調べ考察しレポート作成をすることを課し、「志望選抜型」では、方式別に関連するテーマについての小論文作成を課し、「実技型」では、教員・保育者に必要な専門的技能(絵本読み聞かせまたは体育実技)に自ら取り組み、表現することを課しています。

関西福祉大学 大学院 社会福祉学研究科アドミッションポリシー

社会福祉学研究科修士課程では、社会福祉における高度な専門職業人の育成と、その知識・技術をもとに地域社会に貢献し、国際的にも通用する人材を育成することを目的としています。

この目的をもとに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）に定める修士課程教育で培う能力・素養に応じて、知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を幅広く受け入れています。

そのため、以下の項目を基本要素として、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲（主体性・多様性・協働性）」をそれぞれの入学試験において重み付けを行い評価し、入学者を適正に選抜します。

- (1) 社会福祉学の各研究分野と関連領域の基礎的な知識や技術を有している。
(知識・技能)
- (2) 明確な目的意識をもち、探究心が旺盛であり、真摯に学び継続できる。(判断・意欲)
- (3) 地域社会の再構築と、国際的な課題にも積極的に貢献できる社会福祉の専門職業人を目指す意欲をもっている (意欲)
- (4) 科学的な思考能力を有し、社会福祉の原点に帰り、福祉実践、福祉政策、福祉文化の総合的な探究を始めることができる読解力・表現力を有している。(思考・表現)

入試区分	試験科目	アドミッションポリシー			
		(1)	(2)	(3)	(4)
一般選抜入学試験	英語	◎			◎
	専門科目	◎			○
	面接 (研究計画書参考)	◎	◎	◎	◎
社会人入学試験	小論文	◎			◎
	面接	◎	◎	◎	○
外国人留学生入学試験	専門科目	◎			○
	面接		◎	◎	◎

【博士前期課程】

看護学研究科博士前期課程では、高度な専門的知識を発展させ、看護の研究的視点をもつ看護実践者であり、更に臨地教育・指導が出来る人材を育成することを目的としています。

この目的をもとに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）に定める修士課程教育で培う能力・素養に応じて、知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を幅広く受け入れています。

そのため、以下の項目を基本要素として、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的な学習意欲（主体性・多様性・協働性）」をそれぞれの入学試験において重み付けを行い評価し、入学者を適正に選抜します。

- (1) 看護学の各専攻分野と関連領域の基礎的な知識や技術を有している。(知識・技能)
- (2) 明確な目的意識をもち、探究心が旺盛であり、真摯に学び継続できる。(判断・意欲)
- (3) 看護の向上に寄与したいと願い、看護職者としての使命感・責任感がある。(意欲)
- (4) 科学的な思考能力を有し、各専攻分野の探究を始めることができる読解力・表現力を有している。(思考・表現)
- (5) 豊かな感受性と高い倫理観を重要視し、人間関係の形成に理解がある。(意欲)

入試区分	試験科目	アドミッションポリシー				
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
一般選抜入学試験	英語	◎				
	専門科目	◎			◎	
	面接		◎	◎	○	◎
社会人特別選抜試験	小論文	◎			◎	
	面接		◎	◎	○	◎

【博士後期課程】

本学看護学研究科博士後期課程では、少子高齢社会が直面している課題と地域社会の多様化、複雑化しているニーズに対応するために、独創的な看護ケア開発能力と高い倫理観を有した人材を養成し、教育、研究、実践を通して看護学の発展に寄与することを目的としています。このような目標を達成するため、アドミッションポリシーを次のように定めています。

- (1) 看護学の各専攻分野の専門的な知識や技術を有する者
- (2) 看護学教育及び看護教育の発展に貢献する意欲のある者
- (3) 看護ケアの質の向上や看護ケアの改革・開発に貢献する意欲のある者